

種がき通報(第2報)

【平成30年7月13日】



宮城県水産技術総合センター
仙台地方振興事務所水産漁港部
東部地方振興事務所水産漁港部
宮城県漁業協同組合
宮城県漁協各支所青年部・研究会

7月12,13日に松島湾, 万石浦で臨時のカキ浮遊幼生調査を実施しましたので結果をお知らせします。

[概況]

1. 松島湾の表面水温は24.9~25.6℃, 比重は20.2~20.6でした。
2. 定地水温(0m)観測での積算水温は, 田代島で589.7℃(昨年同時期475.0℃), 佐須浜では621.4℃(昨年同時期533.5℃)で600℃を超えました。桂島では6月30日に600℃を超えています。
3. 7月3日の松島湾でのマガキ浮遊幼生の出現は全幼生数5,074~10,357個/100L, 大型幼生数は6~247個/100Lでした。万石浦では全幼生数324個/100L, 大型幼生数は0個/100Lでした。
4. 7月12日現在の熟度指数の平均値は, 松島湾でやや減少(47.1→43.9%), 万石浦でやや増加(43.9→46.5%)していました

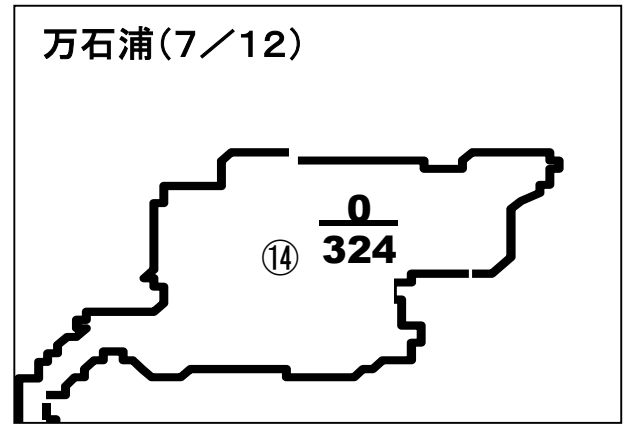
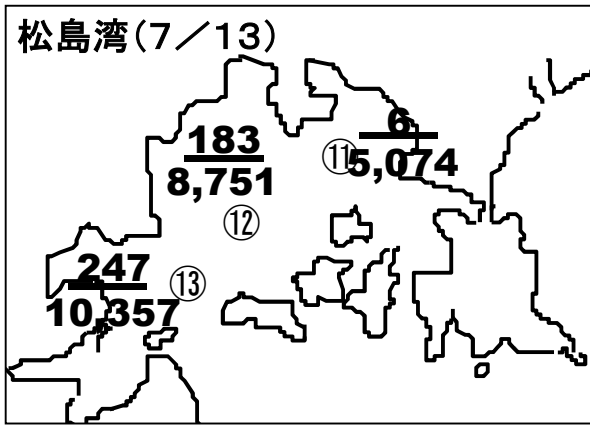
参考: 積算温度
魚貝類の産卵やふ化の適温範囲において, 水温と産卵・ふ化までの日数との積で, ほぼ一定の値を示します。カキの場合, 春になって海水温が10℃以上になってから生殖細胞の分裂・増殖が盛んになることから, 10℃を基準として, それを超えた日々の海水温を積算して総計で600℃に達した日を産卵開始の目安としています。

▼カキ浮遊幼生の出現状況調査結果(7/12、13)

H30 万石浦 7月12日15:00 松島湾 7月13日9:00~10:00

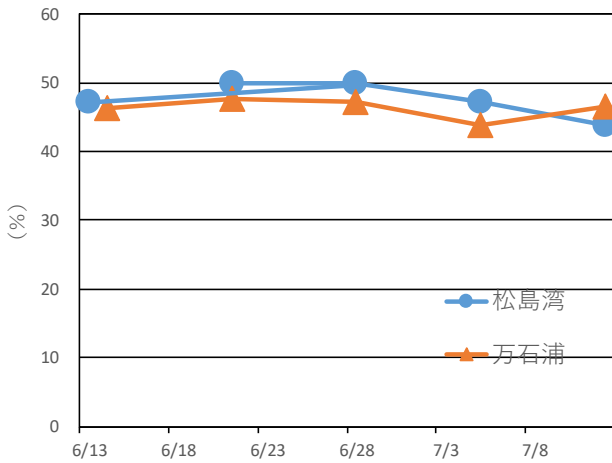
調査点	表面水温 (℃)	比重 (σ15)	サイズ(μm)別幼生数(個/100L)					合計	
			<100	100~150	150~200	200~250	250<		
松島湾	11	25.6	20.2	4,918	68	38	44	6	5,074
	12	25	20.6	8,130	198	33	207	183	8,751
	13	24.9	20.5	9,690	85	85	250	247	10,357
万石浦	14	-	-	82	219	20	3	0	324

▼カキ浮遊幼生の出現状況



上段: 大型幼生数(250 μ m以上)
下段: 全幼生数

▼カキ熟度調査結果(7/12)



▼研究会による調査結果

観測研究会	月日	調査点	水温(°C)	比重(塩分)	サイズ(μ m)別幼生数(個/100L)					備考	
					<100	100~150	150~200	200~250	250<		合計
石巻湾	7月9日	松前	23.5	24	200	80	10	0	0	290	ムラサキイガイ多し
		基幹湾	23.5	23	50	10	5	0	0	65	
		尾崎	20.5	24	50	50	10	2	2	114	
		生草	20.5	24	80	60	10	1	1	152	
		新免4号(沖)	22.0	24	80	10	0	0	0	90	
		新免4号(岸)	22.0	24	200	50	15	2	2	269	
		長浜(東)	22.0	23	50	5	8	2	2	67	
		長浜(西)	22.0	24	200	10	5	0	0	215	
鳴瀬	7月7日	樺山	22.1	23	0	14	0	2	0	16	
		津島	22.0	24	4	138	44	0	6	192	
		鐘島	22.6	25	520	66	30	21	9	646	
		寒々沢	21.7	25	100	42	14	6	10	172	
		野蒜	21.8	20	—	—	—	—	—	—	
鳴瀬	7月10日	樺山	23.1	24	0	0	2	2	0	4	
		津島	24.6	25	4	3	2	0	1	10	
		鐘島	24.1	25	6	36	45	33	62	182	
		寒々沢	24.8	25	12	4	2	2	0	20	
		野蒜	22.0	—	17	3	0	1	1	22	
		浜市(北)	22.0	—	24	1	1	6	9	41	

観測研究会	月日	調査点	水温(°C)	比重(塩分)	サイズ(μm)別幼生数(個/100L)					備考	
					<100	100~150	150~200	200~250	250<		合計
鳴瀬	7月11日	樺山	23.8	22	8	1	0	0	1	10	
		津島	23.7	24	24	10	0	1	2	37	
		鐘島	24.4	23	154	162	70	40	8	434	
		寒々沢	24.9	24	46	36	5	8	2	97	
		野蒜	21.8	19	5	0	0	0	0	5	
鳴瀬	7月12日	樺山	20.6	25	9	7	1	5	0	22	
		津島	23.7	25	8	10	2	2	0	22	
		鐘島	23.1	27	11	11	16	51	0	89	
		寒々沢	23.4	25	4	1	0	3	1	9	
		野蒜	20.2	21	30	13	2	8	0	53	
松島	7月10日	前原	24.9	2.86	358	287	240	240	55	1,180	
		種ガキ棚	28.4	2.59	27	22	6	6	1	62	
		高城	24.9	2.85	376	223	169	169	52	989	
		新力所	25.7	2.85	313	178	118	118	6	733	

▼東北地方 1か月予報(7月12日仙台管区気象台発表)
(7月14日から8月13日までの天候見通し)

<特に注意を要する事項>

期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

東北太平洋側では、期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率60%です。降水量は、東北太平洋側で平年並または少ない確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率80%です。2週目は、高い確率50%です。

[連絡事項]

1. 各地先での浮遊幼生観測結果は随時、水産技術総合センター養殖生産チームまでFAX(0225-97-3444)で連絡下さい。
2. 本通報の内容は当センターのホームページ
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/> でもご覧になれます。
2. 次回の通報発行は7月17日(火)の予定です。